

日ASEAN経済共創ビジョン 中間整理（全体概要）

はじめに ～日ASEAN友好協力50周年を機に、日ASEANの経済関係を振り返り、再定義する意義～

1. 日本とASEANの経済関係が大きく変化している
 - 日本がASEAN経済を牽引する雁行型経済の終焉と日本の「失われた30年」
 - ASEAN地域の台頭と世代交代
 2. コロナ禍、ウクライナ情勢に伴うエネルギー/食料安全保障、地政学的リスク等に伴う経済停滞、地球規模課題（SDGs）
 3. 雁行型発展からグローバルバリューチェーン（GVC）型の発展への変革の必要性
- これらの変化を踏まえ、日ASEANの経済関係を再定義し、日ASEAN双方で目指すべき大きな方向性を共有することが必要

～これからの50年を見据えたビジョン～

**50年の友好協力を通じて培った“信頼”を原動力として、
安全で豊かで自由な経済社会を、公正で互恵的な経済共創で実現する**

ビジョンを支える3つの基盤

経済成長と社会課題解決の
経験を共有する

地域の実状に向き合い、
多様性を尊重する

互恵的なイノベーションの担い手となる
人材の双方向の交流を進める

～経済共創の4つの柱～

多様性・包摂性を両立するサステナブルな経済社会の実現

国境を越えたオープンイノベーションの推進

サイバー・フィジカルコネクティビティの強化

活力ある人的資本を共創するためのエコシステムの構築

ERIAの更なる活用

日ASEANの共創関係をグローバルで目指すべきモデルの一つとして示すとともに、
自由で公正で開かれた地域経済秩序の構築に貢献することを目指す